

千年希望の丘相野釜公園植栽の桜

カンノンジアワベニザクラ（観音寺淡紅桜）について

1 経緯

カンノンジアワベニザクラは、平成20年4月、尾形政幸氏が大河原町堤の自宅研究ほ場にて人工交配し作出したサクラである。尾形氏が宮城県農業高等学校に赴任した平成24年4月以降は、科学部内に復興プロジェクトチームをつくり、生徒たちと共に震災復興活動の一環として、本種の接ぎ木による増産を試みてきた。平成27年から8本の苗木を作り出している。

平成31年4月、北釜観音寺（名取市下増田屋敷）の要請で苗木4本を初めて提供、これを機に植栽参加者（檀家）に名前を募集、標記の命名に至った。今回の岩沼市の寄贈（4本）は2回目になる。現在、品種登録のため（公財）日本花の会に申請中。

2 交配の親

父：オオヤマザクラ（大山桜）、七ヶ宿町自生種

母：カワヅザクラ（河津桜）、静岡県河津町住民により本県に伝えられたもの

3 耐塩性

不 明

（親のオオヤマザクラはオオシマザクラと並んで平野部の砂浜海岸植栽可能樹種として知られる。カワヅザクラは平成24～25年に宮城県農業高等学校科学部が実施した適合性試験（亘理町）で合格している。）

4 桜の特徴

開花は4月上旬（計測大河原町、ソメイヨシノと比べ4～5日早い）、一重咲き（花弁数5枚）、花弁の色は淡い紅色

成木の大きさは不明（超密植栽培10年生で樹高3.5m）

5 桜の写真



（写真及び記事は宮城県農業高等学校から提供されたものを、岩沼市で一部編集しました）